

持続可能な観光地を目指し 長期滞在型温泉リゾートに向けて



令和2年1月15日
阿蘇内牧温泉 蘇山郷
三代目館主 永田祐介

きっかけは九州北部豪雨災害！

蘇山郷変革の種

東京オリンピックを控え、今後はインバウンドが増えると予想。「いつかは改装をしなければ」とは感じていたが、そこに対しての大きな改革は出来ずにいた。



葛藤の中、地域・旅館としての大きな痛み

- 2012年7月九州北部豪雨災害により、温泉街が水没。
- 蘇山郷も80cmの床上浸水により一階が水没、被害額は1億を超えた。



ピンチをチャンスに変える為の秘策とは？

被災を機に外国人の受け入れを決意

- 畳の宴会場をフローリングのレストランに改装
- 館内表示や客室案内などの英語表示
- 館内WIFIの設置
- 和室をベッドルームに改装
- 海外OTAにプラン掲載を開始



館内における英語表記



宴会場をレストランに改装



和室をベッドルームに

受入れの中で気づいた外国人の常識・・・ホテルで食事をしない

○1泊朝食プランを導入＋宿泊客に飲食店3店を紹介



外国人に優しい町作り

地元復興の為に「ふらっと内牧^{うちのまき}」をスタート

- ・泊食分離して、外国人を地元に戻遊させる取組み
- ・飲食店の**23**店舗が参加(約8割)
- ・宿泊施設36軒中**33**軒が泊食分離を導入(2019年)



ふらっと内牧MAP 3

うちのまき

地域回遊の仕組み「ふらっと内牧」を開始⇒泊食分離の本格開始

多言語対応のホームページ

5ヶ国語のホームページ
(日本語・英語・中国語・フランス語・韓国語)



ホームページでのレストラン紹介



①内牧店紹介マップ ②オススメメニューのご紹介 ③あるこるメニューのご紹介 ④各店舗メニュー表の閲覧



⑤店内写真360° ⑥店内PR用動画 ⑦スマホナビ機能

・滞在時間と消費単価は
比例します！



・1泊2食ではなく3泊3朝食
のゲストを！

全店で多言語メニューを作成

Aパターン (日本語・英語)



Bパターン (日本語・中国語・韓国語・フランス語)



旅館宿泊者の街での回遊を促すポスター

ふらっと告知ポスター

(日本語・英語・中国語・韓国語・フランス語)



水害からの復興を目指し「灯火」と言う焼酎バーの新設

〇畳の上で椅子、テーブルで飲める日本酒 & 焼酎バー
としてインバウンドのお客様に人気！



熊本地震復興クラウドファンディング第1号

満天の星空 ルーフトップバーの新設

○宿泊客だけではなく、地域や他の宿に泊まっている旅行者にも開放し、地域住民とインバウンド観光客の交流できる場になった。



屋上に満点の星空が見えるルーフトップバー

泊食分離の結果、阿蘇市全体で長期滞在エリアとして選ばれる

蘇山郷宿泊者数



震災からの回復率が日本人は
84%だが外国人だけでは95%
平均客単価15,270円(27年)

↓
17,190円(30年)

阿蘇市宿泊者数



日本人が74.3%だが
外国人だけに絞ると94.2%
(外国人FITだけに絞ると
187.2%の伸び)

提言

1. 老朽化する設備には自己財源だけでの改修は厳しい。今のバリアフリー化補助の様な改装のきっかけになる補助の継続を。
2. 地方ではバス路線の廃止やタクシーの統廃合が加速していく。宿のマイクロバスや送迎車を観光二次交通の手段として活用することを検討すべき。
3. キャッシュレス化を国が本気で目指すなら6月末以降の手数料率が重要。今の2.16%がギリギリ。元の利率に戻ったら一斉に加盟店が離脱するのでは？職種によっては手数料が戻ったらこれ以上の普及は厳しい。理想はゴルフ場並みの手数料。

